

隠岐の島町民生委員・児童委員協議会だより Vol44



ほほえみ

発行 隠岐の島町民生児童委員協議会

事務局 隠岐の島町役場 保健福祉課 地域福祉係内
お住まいの地域の民生委員・児童委員が不明の場合は
役場保健福祉課までお問い合わせ下さい。

電話 (08512) 2-8561

歴史に学ぶ民生委員・児童委員の存在

会長 堤 章

民生児童委員の一斉改選まで後二か月余りとなりました。民生委員制度は大正六年、岡山県で創設された「済世顧問制度」を始まりとし、今年で一〇八年の長きにわたる活動の歴史があります。大正七年に第一次世界大戦が終結し戦後の混乱期から活動が始まり、関東大震災、満州事変、第二次世界大戦等の戦乱で荒廃した国内で、国民は助け合ってきたのでしよう。現在の日本社会に住む私達には想像できない情勢です。

第二次世界大戦前とそれ以後の支援状況は異なると思いますが、生活物資の不足や医療機関の不整備な状況で、当時の民生委員の隣人愛・献身・奉仕の精神が活動を支えていたのでしょうか。そして先進国の仲間入りをしたのちバブル崩壊後は、周知の通り全国的に人口減少と少子高齢化が少しずつ進んできました。今、私達民生委員・児童委員のなり手確保が深刻な課題になっています。

民生児童委員は地域の身近な相談相手として、そして関係機関のつなぎ役としての活動が求められ

地域の民生児童委員は 地域の身近な相談相手・専門機関への つなぎ役です

ています。先人がその時代に合った知恵を出し、工夫をして支援活動をしてきたように、私達も現代の恵まれて整った社会資本や、最新の医療設備がある地域社会で、地域のすべての住民と共に年齢や立場に関係なく、支え合うことが重要になるとされています。民生児童委員自身の生活環境や健康状態を考慮し、現代社会が抱える様々な課題を克服して国の目指す地域共生社会を構築して行く事が期待されています。

もう一つ歴史から学びたい事は、戦前から昭和後期の日本食の大切さです。東北大学大学院研究調査(二〇一六年)で現代食(西洋食)と昭和後期の日本食を食べてもらい比較検討したところ、発酵食品、うま味、だし等で優位な健康効果が発表されているそうです。日本古来の風土に適した穀物での食生活を意識して、地域住民も私達民生児童委員も、健康的な日々を過ごせるようお願いしたいと思います。



布施地区部会の活動報告

「ありがとう」に支えられて

布施区域担当

前釜 安孝

三期を終えようとしているこの機会に、反省点が圧倒的に多い中で数少ない良かったと思える活動の一端を紹介する。

まず、高齢者福祉についてである。ある老婆から自宅の裏のミカン取りを頼まれてお手伝いした事がある。大変喜ばれ、「ありがとう」の言葉と缶ビールやらワンカップ酒をお礼として頂いた。それは明らかに子供としてあったものと察したが、嫌いでもないので仏さんと思いついた。海に清めをしてから遠慮なく頂いた。ちよつとした事であったが清々しい思いが残っている。

次は、障がい者福祉についてである。最初の頃は挨拶すら出来ない状態であったが回覧板を回すたびに声掛けをし、玄関先に出したゴミと一緒に片づけたり、たまに食べ物物の差し入れをしたりする内に「ありがとう」と言う言葉が返ってくる様になりビックリした。

また、この方には特別のケア会議があつて関係職員の方々が定期的に話し合い地道なケアが行われており、家族の大きな支えとなっている。この会議の中でも相互の間で「ありがとう」という言葉を多く耳にした。

様々の場面で使われる「ありがとう」という言

葉には人を動かす不思議な力がある。



旧布施小学校に咲くアガパンサス

都万地区部会の活動報告

都万地区部会の活動紹介

隠岐の島町民生児童委員の都万地区部会は、民生委員十名、及び主任児童委員一名の計十一名で構成され、その男女内訳は男性六名、女性五名と、バランスのとれた組織です。

民生児童委員の経験も二期六年以上が半数以上を占めており、意見交換の場では活発な議論が繰り広げられます。

部会は年六回(偶数月)、都万支所で開催しており、主任児童委員からの学校や児童・生徒の実情報告、各民生児童委員からの担当地域における課題や

その対処方法等の紹介、及びそれに対するその他委員からのアドバイス等、毎回、委員の皆さんと一緒に問題意識を持ち、より良い民生児童委員活動に活かす様に努めています。

福祉関係者が集まる都万地域連絡会には毎回二名参加し、担当地域の情報収集及び提供を行っています。断酒会にも毎回一名参加し、現状の把握や問題解決の方法を探っています。

都万地区部会の大きな活動としては小中学校の訪問を全員で行い、学校より児童・生徒の実情や学校の教育方針等を聴き、民生児童委員としての活動に活かす様に努めています。

もう一つの大きな活動として、施設訪問(高齢者施設)をコロナ前までは年末に行いボランティアで奉仕活動を実施していましたが、現在は施設への訪問が出来ず中止しております。

都万駐在所の駐在さんにも年に二回程度、部会への参加をお願いし、犯罪防止の為のアドバイスを受け、活動に活かしています。今後も都万地区部会は民生児童委員の相互連携を深め、民生児童委員が相互に助け合い、地域住民の手助けが出来る様に努めてまいります。





学校訪問の様子

都万地区部会活動の様子

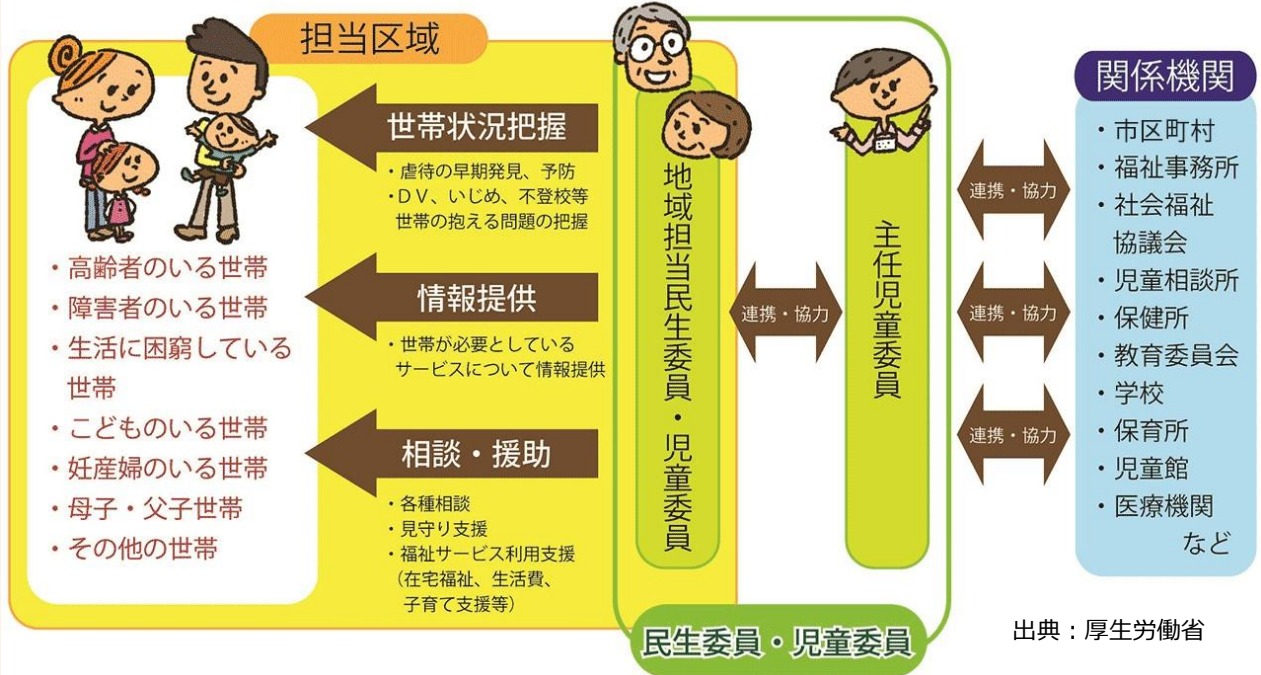


都万地区部会～集合写真



部会風景

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



地域の民生委員・児童委員は

地域において福祉サービスを必要としている人々からの相談を受けて、福祉制度の案内や、必要があれば関係機関に連絡するなど、町民の皆様の生活をサポートする相談・支援のボランティアです。

担当地域において、高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子ども達への声かけなどを行っています。

また、主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援など、児童福祉に関することを専門的に担当する児童委員です。

任期 3年
(3年に一度、12月に一斉改選)

隠岐の島町定数
●民生委員・児童委員 62名(62地区)
●主任児童委員 5名

永年勤続表彰受賞

この度、本町の民生児童委員の方々が永年勤続表彰を受賞されました。心より祝意を表すると共に、ご報告をさせていただきます。(敬称略)

《永年勤続二十年以上》

【全国民生委員児童委員連合会功労者表彰】

○須藤 富江

《永年勤続十年以上》

【隠岐の島町社会福祉協議会会長表彰】

○秋庭 肇

《永年勤続九年以上》

【島根県民生児童委員協議会会長表彰】

○佐々木 貴美枝 ○佐々木 芳友

○齋藤 徳子 ○澤尾 幸敏

里親になりませんか

○「子どもたちに家庭のぬくもりを

○「子どもたちのために、あなたにも出来ること

があります。

「養育里親」(子どもが親と一緒に生活出来るよ

うになるまで養育する)

「養子縁組里親」(養子縁組により養親となる)

他に、専門里親、親族里親もあります。

○里親になるには、特別な資格は必要ありませんが、必要な研修を受講すること、里親希望者又は同居人が欠格事項に該当しないことなどが必要です。

■中央児童相談所隠岐相談室 TEL二一九七〇六

「隠岐びとチャンネル」ご存じですか

隠岐びとチャンネルとは、町民・出郷者・観光客・関係人口の皆様との双方向のコミュニケーションを支える共感のプラットフォームです。隠岐びとチャンネルでは、第2次隠岐の島町総合振興計画の基本理念である、「島を愛する」「力を合わせる」「未来へつなぐ」の3つの基本理念にそった投稿記事を閲覧することができます。

「民生委員・児童委員について知ってください!」というタイトルの記事を掲載しています。

また、隠岐の島町公式サイトでは、「民生委員・児童委員について」の記事内で民児協広報『ほほえみ』を掲載しています。ぜひご覧ください。



事務局より

事務局を担当し一年半が経とうとしていす。この間、これまで同様に総会や研修会等を企画、実施して来ましたが、それぞれの地区の民生委員・児童委員の皆さんのお話に耳を傾ける機会を十分に持てないままであったことを反省しています。

来る十一月末には、三年に一度の民生委員・児童委員の改選期を迎えます。今期で退任される方には、長きにわたる地域福祉向上への支援に心より感謝申し上げます。また、新しく選任される委員の皆様方には、地域福祉充実のためにも活動いただけることを大変嬉しく思っております。

一方で、先日地方紙で、島根県内の19市町村のうち、12市町で定数を下回っており、なり手確保に苦慮している各地域の様子等が報じられました。本町も例外ではありませんが少しでも活動しやすくなるよう、事務局としても情報発信を続けていく所存です。引き続きよろしくお願いいたします。

編集委員

- 佐々木 貴美枝 眞野 秀雄 堤 文子
- 若林 富治 岡島 美和子 大上 肇子
- 半田 恵美子 山下 光磨